

令和7年度日本学生支援機構奨学生（給付型）【在学採用】の募集について（通知）  
（高等教育の修学支援新制度による）

標記のことについて、以下のとおり募集しますので、希望者は【5月7日（水）まで】に必要書類を学生課学生・図書係に提出してください。（申請書類は学生・図書係で配布しています。）  
※提出後もいくつか手続きがあります。選考結果が早めに出るように、可能な限り速やかな提出をお勧めします。

## 1. 申込資格

令和7年度本科4・5年生及び専攻科1・2年生  
（本科4・5年及び専攻科1・2年次に、休学理由以外で留年したことがある学生は除く。）

### 《学力基準》

【本科4年生】（1）又は（2）のいずれかに該当する必要があります。

- （1）高等専門学校における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること
- （2）（1）に該当しない場合、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること（※）

【本科5年生及び専攻科1・2年生】（1）又は（2）のいずれかに該当する必要があります。

- （1）GPA（平均成績）等が在学する学科における上位1/2の範囲に属すること
  - （2）（1）に該当しない場合、修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること（※）
- （※）学修意欲の確認は、レポートの提出等により行う予定です。

### 《家計基準（収入基準・資産基準）》

下記の「収入基準」及び「資産基準」のいずれにも該当する必要があります。

#### ●収入基準（区分により、奨学金の金額が異なります。）

【第Ⅰ区分】学生本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

【第Ⅱ区分】学生本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が

100円以上25,600円未満であること

【第Ⅲ区分】学生本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が

25,600円以上51,300円未満であること

【第Ⅳ区分】学生本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が

51,300円以上154,500円未満であること（多子世帯のみ対象）

#### ※多子世帯の支援について

生計維持者の扶養する子どもの数が3人以上である世帯が対象となります。授業料等減免について、所得制限なく、支援基準額を上限に支援が受けられます。また、給付奨学金支給額算定基準額に応じた、支援区分（第Ⅰ～Ⅳ区分）の金額が支給されます。

（多子世帯の授業料等減免に係る資産基準は、「あなたと生計維持者の資産額の合計が3億円未満であること」となります。）

（あなたと生計維持者の資産額の合計が5,000万円以上3億円未満の場合、給付奨学金の支給はされません。）

#### ●資産基準

申込日時点の学生本人と生計維持者の資産額の合計が5,000万円未満であること。

## 2. その他

- ①日本学生支援機構貸与型奨学金との併用は可能ですが、貸与金額が制限される場合があります。
- ②他の地方公共団体・奨学事業実施団体が実施する奨学金制度が、本奨学金との併用を認めていない場合がありますので、申請する際は必ず確認してください。
- ③家計急変採用での申込みを希望する場合には、その旨申し出てください。
- ④日本学生支援機構のHPもご確認ください（シミュレーションもできます）。→ 
- ⑤その他詳細については、学生・図書係（TEL 0897-37-7814）までお問い合わせください。